

# 令和4(2022)年度

団体名	あきやのよろずや	NOBA		国分寺特別支援学校高等部サービス班
所在地	宇都宮市	宇都宮市		下野市
事業の概要	<p>(A:チャレンジコース(短期)/事業規模:32,789円) 【構成員】 代表:白金励大(宇都宮大学地域デザイン科学部) 宇大生16名、宇都宮市職員</p> <p>【事業名】 あきやのてらこや</p> <p>【事業目的・実績】 ○定期的に寺子屋を開催し、地域の人に開かれた場所として機能させていく。“勉強や悩み事の相談などを大学生と一緒にできる”をコンセプトとして、子ども達の集いの場、人々のサードプレイスとなるような場所を目指す。また、子どもだけではなく、保護者や地域住民同士の交流を図り、地域内の繋がりを広げていく。</p> <p>・9月23日(金)、24日(土)、25日(日) ・10月15日(土)、16日(日)、29日(土)、30日(日) ※会場はすべて、宮原1-2-24</p> <p>【事業の効果】 ・今回活用している空き家での「あきやの駄菓子屋」の活動実績を生かし、地域の子どもたちへの学習支援やさまざまな体験の場の提供を行うことで、「子どもたちの第三の居場所＝サードプレイス」としての役割を果たすことができた。5回のイベントをとおして、複数回参加する子どもたちが多く見られた。</p>	<p>(A:チャレンジコース(短期)/事業規模:48,739円) 【構成員】 代表:高橋剛志(宇都宮大学地域デザイン科学部) 宇大生12名</p> <p>【事業名】 障がい者福祉サービス</p> <p>【事業目的・実績】 ○障害の有無による体験格差をなくすことを目的に、障がい児向けの体験型イベントを月1回行う。第1回から第3回の活動では感覚遊びを取り入れたものづくり体験を主に行い、参加子供たちが感覚を知ることや受け入れること、それぞれの興味関心を見つけることを目的とする。</p> <p>・10月30日(日):子ども科学教室 ・11月27日(日):秋の工作教室 ※オンライン対応 ・12月18日(日):クリスマスイベント ・1月22日(日):絵具で昔あそび体験 ・2月18日(日):家族で作ろうお菓子のいえ</p> <p>【事業の効果】 ・対象となる児童生徒の実態に合わせた内容の設定と体験の場の確保、安全面への配慮について、専門的な知識を有する団体や大学の指導教官からの助言を受けながら事業を進めることができた。また他団体のイベントやラジオ出演等による団体の広報を積極的にを行い、安心して活動に参加してもらえ環境づくりに努めることができた。</p>	<p>(A:チャレンジコース(短期)/事業規模:48,911円) 【構成員】 代表:大橋和輝(高等部サービス班) 高等部サービス班10名、教職員</p> <p>【事業名】 「私たちの手で地域をきれいにし隊」</p> <p>【事業目的・実績】 ○通学路の美化活動やあいさつ運動を通して、地域との交流を深める。</p> <p>＜いちご一会花育て隊＞ ・4月～6月:種まき ・6月～7月:花植え ・9月～1月:鉢植え管理</p> <p>＜いちご一会きれいな街で迎え隊＞ ・9月29日(木):清掃活動(小金井駅・郵便局周辺) ・11月8日(火)、21日(月)、28日(月)</p> <p>【事業の効果】 ・県が団体に合わせて進めていた2つのプロジェクトに積極的に参加し、生徒の「誰かの役に立ちたい」「人のためになることをしたい」という想いに沿った主体的な取組を行うことができた。また、地域の方々と連携して活動を行い、生徒たちが地域に貢献する機会を創出することができた。</p>	

団体名	子ども科学ラボ	Asian Teenagers Conference とちぎ		棚田復活プロジェクト
所在地	宇都宮市	佐野市		茂木町
事業の概要	<p>(B:ステップアップコース(中・長期)/事業規模:51,453円) 【構成員】 代表:斎藤すみれ(宇都宮大学農学部) 宇大生14名</p> <p>【事業名】 子ども向け理科実験教室</p> <p>【事業目的・実績】 ○小学生や未就学児向けの理科実験教室をとおして、子どもの身近な地域に好奇心を伸ばせる場所を作り、地域と子どもがつながるきっかけを作る。</p> <p>・8月11日(木):土の中の生き物を探してみよう ・9月18日(火):パブロケット ・10月30日(日):植物と光のみみつ ・11月27日(日)※中止 ・12月25日(日):科学の光を見てみよう</p> <p>【事業の効果】 ・定期的に子ども向けの理科実験教室を開催した。参加する子どもたちの目線に合わせて内容を検討したり、簡単に手に入る材料を用いたりすることで科学をより身近に感じられるように工夫しながら事業を進めることができた。また、団体のイベントへの積極的な参加により、子どもたちの体験の場の確保に努めることができた。</p>	<p>(B:ステップアップコース(中・長期)/事業規模:37,286円) 【構成員】 代表:木村香乃音(佐野高校) 佐野高3名、社会人1名</p> <p>【事業名】 Finland Schoolをぎゅっと体験!ぐっとな思い出!</p> <p>【事業の概要】 ○世界の中でも幸福度・教育スキル共に高い北欧の授業形式を体験してもらい、自己の学習や学校の授業に取り入れてもらう。</p> <p>・9月20日(火):構内pilot study(佐野高校) ・12月11日(日):異文化交流会①(佐野市文化会館) ・12月18日(日):異文化交流会②※中止 ・1月28日(土):校内シンポジウム ・2月17日(金):ブース展示</p> <p>【事業の効果】 ・高校の総合的な探究の時間における学習成果を十分に生かして事業を計画することができた。日本とフィンランドの違いを体感するためのゲームや食文化体験を取り入れたイベントを実施し、参加者が両国の文化について理解を深めることができた。</p>	<p>(B:ステップアップコース(中・長期)/事業規模:128,787円) 【構成員】 代表:伏本 遥(宇都宮大学農学部) 宇大生24名、社会人1名</p> <p>【事業名】 棚田復活プロジェクト</p> <p>【事業目的・実績】 ○茂木町の地域住民と宇都宮の大学生が、耕作放棄地だった棚田での米づくりや大豆づくりをとおして交流を深め、里山の景観・環境を保全する。さらに、自分たちで育てた大豆で豆腐や味噌づくりに挑戦することで食文化の継承、食と農のコミュニティづくりへと団体の歩みを進める。</p> <p>・7月10日(日):大豆種まき ・8月15日(月)、28日(日):大豆摘心・土寄せ 排水路作り ・8月7日(土)・28日(土):草取り・防護ネット設置 ・9月25日(日):稲刈り・おだかけ ・10月9日(日):脱穀 ・11月27日(日):大豆収穫 ・2月19日(日):味噌づくり ※会場はすべて、茂木町早坂の家、早坂の棚田</p> <p>【事業の効果】 ・中山間地域の棚田の景観維持や周辺の環境保全、地域住民との積極的な交流を行い、昨年度の事業をブラッシュアップして大豆の栽培・加工に取り組むことができた。また、昨年度の課題を踏まえた栽培方法の工夫・改善に努めることができた。</p>	